

Google 社(Gemini)の生成 AI API キー取得手順

この手順書では、Google 社の生成 AI「Gemini (ジェミニ)」を外部のシステムから利用するための「API キー (AI を使うための専用のパスワードのようなもの)」を取得する方法をご案内します。

手順通りに進めれば簡単に取得できますので、ご安心ください。

【全体の流れ】

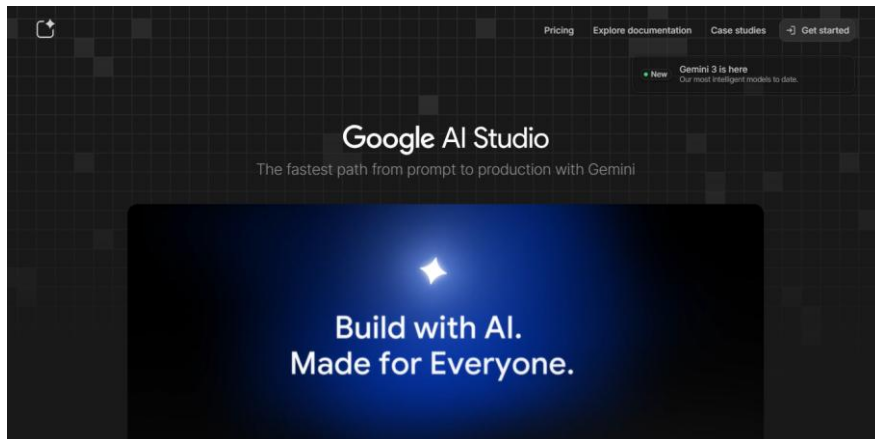
1. Google AI Studio にアクセスする (p.2)
2. API キーの管理画面を開く (p.3)
3. API キーを作成する (★重要) (p.4)
4. API キーをコピーして保存する (★一番重要!) (p.5)
5. お支払い情報 (クレジットカード) を登録する (p.6)

1. Google AI Studio にアクセスする

まずは、API キーを発行するための開発者向け画面（Google AI Studio）にアクセスします。

1) ブラウザを開き、以下の URL をクリック（または入力）してアクセスします。

<https://aistudio.google.com/>



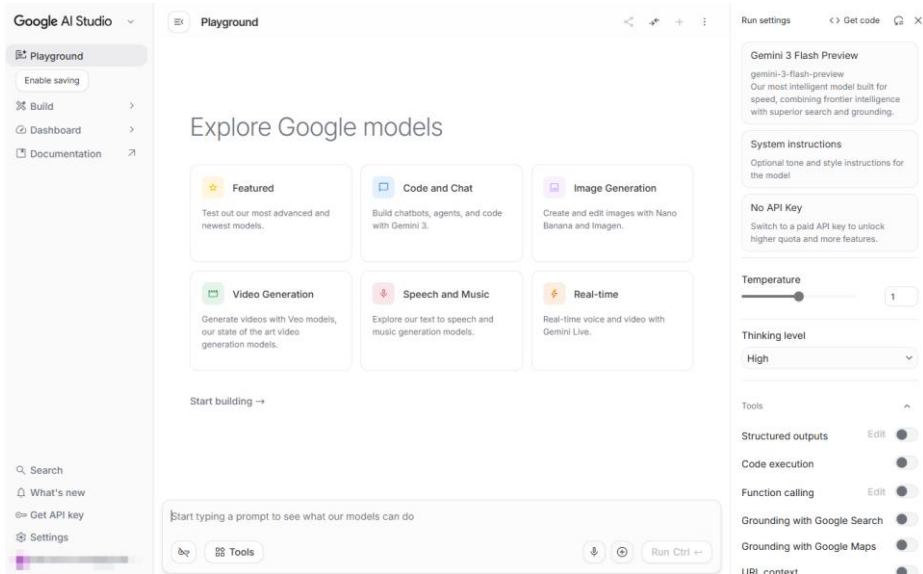
2) 画面右上の「Get Started（始める）」ボタンをクリックします。



3) ログイン画面が表示されますので、お持ちの **Google アカウント**（Gmail アドレスなど）でログインしてください。（※Google アカウントをお持ちでない場合は、右下の「アカウントを作成」ボタンをクリックし、画面の指示に従って新しく作成してください）

2. API キーの管理画面を開く

ログインが完了すると、AI の設定画面が表示されます。ここから API キーの発行画面へ進みます。



- 1) 画面左側のメニューから、鍵のマークがついた「**Get API key** (API キーを取得)」をクリックします。

3. API キーを作成する (★重要)

いよいよ API キーを発行します。このキーは絶対に他人に教えないようにしてください。



1) 画面右上にある「API キーを作成」ボタンをクリックします。



2) 「新しいキーを作成する」という小さな画面が表示されますので、以下の2つを設定します。

① キー名の設定

👉 後で見てわかりやすい名前を自由に入力してください。(例: my-gemini-key、test-api など)

② インポートしたプロジェクトを選択

👉 リストの中から「Default Gemini Project」を選択してください。(※プロジェクトとは、API キーを管理するための「フォルダ」や「グループ」のようなものです)

3) 設定ができれば、右下の「キーを作成」ボタンをクリックします。

4. API キーをコピーして保存する (★一番重要！)

1) 画面に「API キーの詳細」が表示され、長い文字列 (API キー) が表示されます。



2) 文字列の右側にある**コピーボタン** (四角が2つ重なったマーク) をクリックしてコピーし、パソコンやスマホのメモ帳アプリなどに貼り付けて大切に保存してください。
(※この画面を閉じて後から確認することはできますが、ここで確実に保存しておく
と安心です)

3) コピーできたら、画面を閉じます。

5. お支払い情報（クレジットカード）を登録する

API キーを発行した直後は、「無料枠」で利用する設定になっています。無料枠は1分間や1日に使える回数が少なく制限されているため、必ず以下の手順で「お支払い情報」の登録（有料版への切り替え）を行ってください。

【APIの課金とクレジットカード残高に関する注意点】

Gemini API（有料版）は「従量課金制」です。AIに送信した文章・画像や、AIが生成した文章量（トークン数）に応じて料金が発生する仕組みです。

そのため、システムを利用する人数や利用頻度によって、課金される金額に影響します。決済エラーによってAIが利用停止にならないよう、登録するクレジットカードの利用可能枠（デビットカード等の場合は口座残高）には余裕を持たせておいてください。

一般的なクレジットカード残高（利用可能枠）の目安：

- ・ユーザー1名あたりの利用
 - 👉 月額 10～30 ドル（1 ドル 160 円の場合、約 1,600～4,800 円）
- ・10～30名規模のチームでの利用
 - 👉 月額 100～900 ドル以上（1 ドル 160 円の場合、約 16,000～144,000 円以上）



- 1) API キーの一覧画面で、右側にある「お支払い情報を設定」という青い文字のリンクをクリックします。
- 2) 「Google Cloud 請求先アカウントの設定」という画面が表示されます。



- 3) 国が「日本」になっていることを確認し、利用規約に同意するチェックを入れて「同意して続行」をクリックします。

